

須賀川市長沼周辺調査（速報）

2011年3月14日(月)

調査者：梅村順，仙頭紀明（日本大学工学部）

調査箇所と状況メモ：

1. 藤沼貯水池決壊（写真1～12）

堤体が決壊し，5名死亡，3名が行方不明。堤体は高さ18.1mで大ダムにあたる。ダムはアースダムで均一型と思われる。決壊したアースダム堤体内部を見ると締固められた状況がよく観察できる。

ダム湖左岸天端より破壊した堤体を見ると堤内側にははらみだしているように見える。ダムの余水吐きは左岸側にそのまま残っている。

決壊をまぬがれた箇所でも，盛土部分に変状が見られた。堤内側にははら見出し，すべりがみられるものの堤外には変状は確認できない。湖畔の公園では護岸がダム湖に向かってはらみだしている。地震中に住民が撮影した映像が報道されていた。

周辺の施設（三世代交流館）の盛土部にすべりが確認された。それにともない，建物が傾斜している。

2. 工業団地の造成盛土斜面のすべり。（写真13，14）

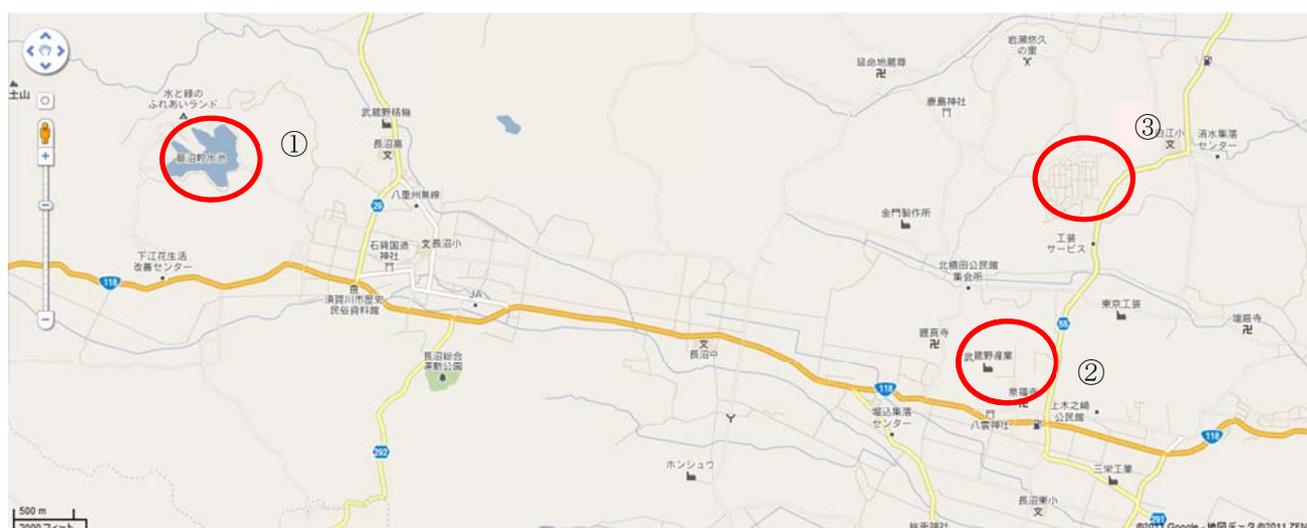
調整池方向に向かって盛土がはらみだしている状況が確認された。隣のり面では盛土上段ですべりが確認できた。

3. 住宅団地の造成盛土のはらみだし（写真15～18）

住宅団地造成盛土がすべり，はらみだしている状況が確認できた。盛土の法尻は側溝をこえてはらみだし，電柱を包み込んでいる状況が見て取れる。盛土のり面に近い住宅は基礎がむき出しの状態となっている。

コメント）須賀川市内の長沼付近は震度6強で，建物の被害も頻繁に見られた。瓦の落下，塀の転倒が見られた。塀は宮城の野蒜石を積んだだけの塀と類似している。こちらでは白河石が使われている。道路も亀裂，段差，盛土部のすべりが見られた。下水道マンホールの浮き上がりも見られた（埋戻し土の締固めが不足したか？）。

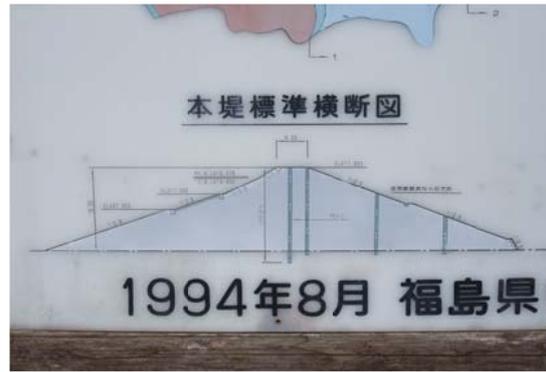
郡山周辺でもガソリンを入手することは困難であるため，今後の調査継続は困難である。



調査位置図（グーグル）



1 平面図
堤体は右上隅



2 断面図, 高さ18.1m
アースダム (均一型)



3 ダム左岸天端よりみた決壊した堤体



4 堤内側 (左岸側) からみた堤体



5 左岸側の堤体の状況



6 堤体からダム湖を見た状況



7 堤体右岸側から堤体を見た状況



8 堤体右岸側から堤体を見た状況



9 決壊しなかった箇所で大被害があった堤体の状況（堤内側）



10 決壊しなかった箇所で大被害があった堤体の状況（堤外側）



11 公園護岸の湖に向かったすべりとはらみだし



12 周辺施設（三世代交流館）の盛土のすべり



1 3 工場盛土のすべり（調整池（写真右）方向へのすべり）



1 4 工場盛土のすべり（上段部ですべり）



1 5 住宅団地の盛土のはらみだし



1 6 住宅団地の盛土のはらみだし



1 7 盛土天端の状況



1 8 盛土のはらみだし